

平成30年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」
事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 愛媛県 】

1実践テーマ	【 Ⅲ 】
2実施対象者	愛媛県立今治特別支援学校 フットベースボール部4名(第1学年1名、第2学年1名、第3学年2名) 陸上競技部8名(第1学年3名、第2学年2名、第3学年3名) 教職員 25名 愛媛県フットベースボールクラブ(本校卒業生)4名 近隣中等教育学校 第3学年 11名 近隣中学校 第2学年2名、第3学年11名 以上 65名
3展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 () ② 行事名 () ③ その他 (部活動) (2) 地域における活動 ① イベント名 () ② その他 ()
4目 標 (ねらい)	今治特別支援学校と地域の学校とのフットベースボールを通じた交流を行い、相互理解を深めるとともに、障がい者スポーツに対する理解・啓発を推進する。
5取組内容	(1) リズム体操 フットベースボール部が練習の一環として実施しているリズム体操を、体育館で行った。スポーツリズムトレーニング協会公認インストラクターの資格を有する教員による指導の下、班に分かれて基本的な動きの練習をした後、音楽に合わせて体を動かした。活気のある中で体をほぐし、楽しく交流することができた。 



(2) フットベースボール

運動場に移動し、基本的な技術練習とルール説明の後、参加者を4チームに分けて試合形式で交流を行った。最初に、通常のルールで勝ち抜き戦を行った。次に、守備全員が蹴られたボールのところに集合するまで打者が進塁するという特別ルールを採用した試合を行った。参加者全員が活動する場面を設けることで、より交流を深めることができた。



6主な成果	参加者全員が、経験や体力差に関わらず、活動を楽しむことができた。本校の生徒及び卒業生にとっては、日頃の練習で鍛えた技術を披露することができ、自信となった。参加した中学生は一様に「楽しかった。」と感想を述べており、スポーツを通じて障がい者への理解を深めることができた。
7実践において工夫した点(事業の特色)	本校フットベースボール部の生徒と卒業生は、愛媛県フットボールクラブを結成しており、愛媛県代表として2年連続全国障がい者スポーツ大会に出場している。本校の特色である活動を生かすことを考え、事業を実施した。
8主な課題等	交流当日は晴天に恵まれたが、フットベースボールは屋外競技のため、雨天の場合、活動が制限される可能性があった。
9来年度以降の実施予定	機会があれば、近隣校の中学生や高校生と、フットベースボールの練習試合を実施したい。